

やすらぎだより

4
月
号

陽気で緑にあふれた生活 それがやすらぎ園です

施設長コラムバックナンバーホームページ掲載しています。

コラム第154号

「 事業計画とは何か 」

施設長 植田 誠



役職員間での幾度かの議論の場を経て、平成30年度法人事業計画及び予算が確定した。表現変更や文言添削はあったが、内容としてはほぼ原案通りの承認を得た。

安定した法人運営、人材育成と連携を活かした職場作り、地域福祉の実践、基本方針としてこれら三本柱を軸にそれぞれ5点の推進項目を設けた。

これまで長年法人事業計画の原案を作成してきたが、今回は新理事となった職員の方々に依頼した。私自身の知恵の無さとも言えるが、何事も一人で繰り返していると見栄えせず慣れっこになる。勿論、中身の項目については多くの声を活かすが、文章構成は書き手次第とも言えよう。いつの間にもやら事業計画書としてのフレームや表現方法が画一化していたと反省する。

‘再三再四’は繰り返すことを意味するが、成長を遅らせるとも読み取れる。人が変われば中身も変わる、そういう意味で今年度の事業計画は更にわかりやすく、そしてまとまりのある構成であると自負した。

(近日公開のHPを是非ご覧下さい)

事業計画というものは、一昔前なら形式化した展望、数年前よりはマニフェストとしての目標、昨年からは実施確認を要する具体的な行動計画。年々その意味合いは現実化するとともに、実施した内容に伴う成果と課題が問われるものとなっている。

付け加えるならば、これまで単年としてのみ区切りあったものだが、年度の事業計画は前後の年度と連動し、やがて中長期計画にも大きく影響されていく。詰まり、社会福祉法人としてのビジョンとシナリオが凝縮されているとも言える。

各法人さんの事業計画は、今ではHPで簡単に拝見できる。同じように見えて実は違う。勿論、表し方だけではなくその法人の個性と方向が読み取れるはずだ。関わる職員一人一人の努力と使命が。



社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- 特別養護老人ホーム やすらぎ園
- 在宅サービス事業所
- 居宅介護支援事業所
- 訪問介護事業
- 訪問入浴介護事業
- 短期入所生活介護事業
- 在宅介護支援センター
- 天理市東部地域包括支援センター
- ケアハウス やすらぎ
- 介護予防関連事業
- グループホーム むつみあい
- 住まいの生活支援事業